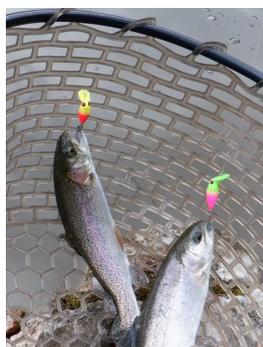


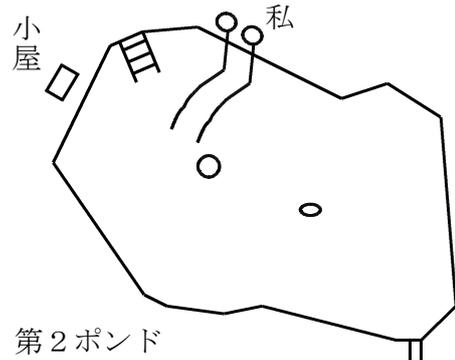
【ヒットルアー】

・モカSR(SS) ブラブラKRG 8尾
 ・モカSR(SS) ミドピーーノ 5尾
 ・モカSR(SS) 黄オレンジ 5尾
 ・モカ ラトル SR(SS) 蛍光ピンク 2尾
 ・モカSR(SS) S.M6 1尾
 ・モカSR(SS) ミドピーーノ風 1尾
 ・モカDR(SS) ミドピーーノ 1尾

・プチモカSR(SS) 黄・オレンジ 1尾
 ・プチモカSR(FⅡ) 黄オレンジ 1尾
 ・グリム51HF MJ サンクオリカラ 2尾
 ・ザッカー50F1 オールブラウン 2尾
 ・スティル イルペレ 1尾
 ・ペンタ 1.3g ピンクグロー 1尾
 ・マメしずくBB 薄茶 7尾

モカSR(SS)
黄オレンジ・ミドピーーノモカSR(SS)
ブラブラKRGモカ ラトル SR(SS)
蛍光ピンクモカDR(SS)
ミドピーーノザッカー50F1
オールブラウングリム51HF MJ
サンクオリカラスティル
イルペレマメしずくBB
薄茶プチモカSR(FⅡ)
F.S01(TRG)モカSR(SS)
ミドピーーノ風

【様子】



- 料金 半日午後 男性 ¥3,500 女性 ¥3,000 2月1日より終了時刻17:00
- 月曜日は放流なし。餌撒きなし。 / ○晴れ、風なし。水は濁っている。客は少ない。

スタート(12時15分)～午後4時00分

29尾

- 表層の下(中層か)にマスの姿が見られるが、動きはない。ライズもない。
- モカSR(SS)黄・オレンジからスタート。少し深い所であたる。連続ヒット。
- プチモカSR(SS)黄オレンジを試す。
- プチモカよりモカの方が良く当たる。
- 少し深い所で釣れること、プチモカよりモカの方が良く当たることは、前回と同じ。釣り方、誘い方も前回と同じである。よく釣れる。
- モカ・プチモカSR(SS)の釣り方、誘い方をツレに教えた。私と同じようなペースで釣果を出している。
- 購入したばかりのモカSR(SS)ブラブラKRGは色が地味で水中では見えない。それでも同様の釣り方をし連続ヒットとなった。
- 途中から表層でマスが動いているのが見られるようになった。しかし、当たるのは相変わらず少し深い所である。
- 当たりが止まってしまったという時間帯はなかった。ポツリポツリと当たりが続いている。
- しかし、前回の方が良く当たった気がした。
- マジックジャークの練習を3回行った。これでも釣れた。

午後4時00分～午後4時20分

7尾

- ルアーの着水で、マスがさっと集まってくる様子が、ほんの少し見られた。ダメ元で「マメしづくBB薄茶」を試すことにした。
- 「着水後、ルアーを水面まで引き上げて水しぶきを立てる。糸を張りながら糸ふけを取る。このとき、カーブフォールになっている。これで当たらなければ、もう一度、ルアーを水面まで引き上げて…を繰り返す。」 活性が高いときには、これで連続ヒットとなるが、今日はダメであった。
- 「着水後、ルアーを水面まで引き上げて水しぶきを立てる。糸を張りながら糸ふけを取り、リトリーブする。すると、マスが追いかけてきたので、そのままリトリーブを続けた。」 これで連続ヒットとなった。
- 15分間で7尾取った。やがて、釣れなくなった。

午後4時20分～午後5時00分(終了)

2尾

- 購入したばかりで調子が良かったモカSR(SS)ブラブラKRGを投げた。1尾取ったが続かない。
- 表層でマスが動いているということから、プチモカSR(FII)黄・オレンジを投げた。1尾取ったが続かない。

○終了時刻に近づき、もう一尾取りたい。モカSR(SS)ミドピアノを投げるがだめ。少し場所を移動して、マスがざわついている場所へ投げた。ヒット。しかし、ネットイン直前でばれた。ここで終了のアナウンスがあった。

【ツレの釣果】 36尾

○よく釣れたルアー(釣れた順)

①モカSR(SS)ミドピアノ ②モカ ラトル SR(SS)蛍光ピンク ③プチモカSR(SS)ミドピアノ
ほとんどモカ・プチモカの釣果であった。

○トルネード(自作 赤黒) 2尾

カウント8でも11でも釣れない。カウント10で当たりがある。そこで釣れた。

【モカDR(SS)ミドピアノ】

○今日も、モカSR(SS)ミドピアノで釣れる状況の中、モカDR(SS)ミドピアノを泳がせた。モカDR(SS)ミドピアノが一定層を泳ぐ、または、ゆっくり沈んでいくをイメージしながら試したが釣れなかった。

○以前、モカDR(SS)ミドピアノで連続ヒットとなったことがある。今回のマスの状況に合わなかったということだろう。

【マジックジャーク】

○基本を徹底することから、次のようにした。

○竿先を下げる。ラインをピンと張ってから3回巻いて潜らせる。続いて、“1～5を速く数えて、5の時にリールを半周巻く”を繰り返す。半周巻きはデジ巻きのように鋭く巻く。

○“1～5を速く数えて”をカウント5と表現すると

ザッカー、グリムは浮きが速いので、カウント5で

スティルとダブルクラッチは浮きが遅いので、カウント8で巻く。

○今日の釣果

・グリム51HF MJ サンクオリカラ 2尾

・ザッカー50F1 オールブラウン 2尾

・スティル イルペレ 1尾

○柔らかい竿(胴調子の竿)で行う方が良いのではないだろうか。

柔らかい胴調子の竿の場合

巻き始めは、竿が曲がり、ルアーの動きはゆっくり目となる。

巻いている途中は、先調子の竿と同様である。

巻きを止めたときは、竿の曲がりに戻るため、ラインがピンと張ったままとなる。

つまり、ラインがピンと張ったまま、ルアーが浮いてくる。

これにより、ルアーのキックバックが防止される。

ラインが緩んだままルアーが浮き上がると、ルアーがキックバックする。

(キックバックしない方が良く釣れるとのことである。)

※マジックジャーク、ウッサ、ちびパニクラDR-SSをもっともっと使うことで、これらの釣り方を理解したい。スプーンも同様である。